

第6学年_社会科における授業展開（略案）

日 時

場 所

6年生教室

指導者

【目標】

- ・ 服部半蔵ゆかりの地が東京に残っていることから、問いを抱く。
- ・ 資料から、服部半蔵が徳川家康の伊賀越えに尽力して信頼を獲得したことを知る。
- ・ 忍者や服部半蔵に関わる歴史的事象に迫ることを通して、伊賀への愛着と誇りを深める。

学習活動	指導上の留意点	使用教材等
<p>●前時の学習を振り返り、「忍者の〇〇」をテーマに児童各自が調べてきたことを共有する</p>	<p>○児童は自ら立てたテーマについて google スライドにまとめてきている。調べてきたことを発表する時間を 10 分程度は確保したい。</p> <p>○授業者は、児童の発表に挙げたテーマや児童が調べたことの概要、調べ方を板書する。</p> <p>○本時の学習問題を立てるきっかけとして、「服部半蔵」について調べた児童のシートは必ず共有するようにしたい。</p> <p>○「半蔵」の名がはっきりと残っていることへの驚きを表現した表情やつぶやきを拾い、学習問題の成立へとつなげていきたい。</p>	<p>・ 電子黒板</p> <p>・ 一人 1 台パソコン</p> <p>・ Google スライド</p>
<p>なぜ服部半蔵ゆかりの場所が東京にあるのだろうか？</p>		
<p>●資料①「半蔵門駅の写真」から服部半蔵の名が東京に今も残っていることを知る</p> <p>●資料②「みどころキューブ」に示された資料（資料③など）から、服部半蔵が徳川家康と関りがあったことをつかむ</p> <p>●資料④「伊賀越え」から、服部半蔵が徳川家康の本国帰還に深くかかわったことをつかむ</p> <p>●学習問題「なぜ服部半蔵ゆかりの地が東京にあるのか」についてわかったこと、考えたことをまとめる。</p>	<p>○伊賀と東京の地理的な関係や、江戸時代成立前後の人の名が現代にも残る時間的な関係を認識するために、資料①「半蔵門駅の写真」と資料②「みどころキューブ」を活用する。</p> <p>○資料③「徳川十六将図」にて、徳川家康との深いかかわりがあったことを認識させたい。</p> <p>○資料④一次資料の「伊賀者大由緒記」は読解が困難であるため、発達段階を考慮して「歴史発見 11 (NHK 歴史取材班)」等を参照して授業者が作成した資料を提示する。</p> <p>○考えがまとまらない様子の児童には、徳川家康の「伊賀越え」に貢献したことを根拠として学習問題についてわかったことを記すように助言する。</p> <p>○今後の見通しとして、「みどころキューブ」に「忍者」をテーマとして調べた史資料や「服部半蔵」と他地域の関わりが見出せる史資料をアップロードしていく事を提示する。</p>	<p>・ 資料① 「半蔵門駅の写真」</p> <p>・ 資料② 「みどころキューブ」</p> <p>・ 資料③ 「徳川十六将図」</p> <p>・ 資料④ 「伊賀越え」</p>

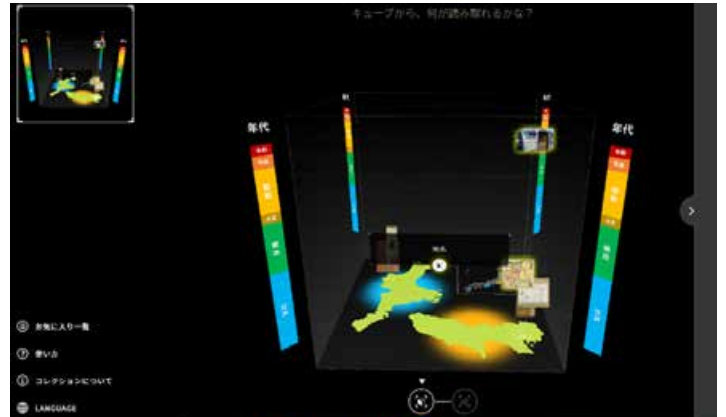
【提示する画像】

・ 児童作成のスライド（画像は一例）



・ 資料②みどころキューブ（導入[問いの創発]版）

<https://images.dnpartcom.jp/cube/igacity/>



・ 資料①「半蔵門駅の写真」（授業者撮影）



・ 資料③「徳川十六将図」

<https://adeac.jp/hamamatsu-city/catalog/mp000220-200010>



資料④「伊賀越え」

資料 伊賀越え

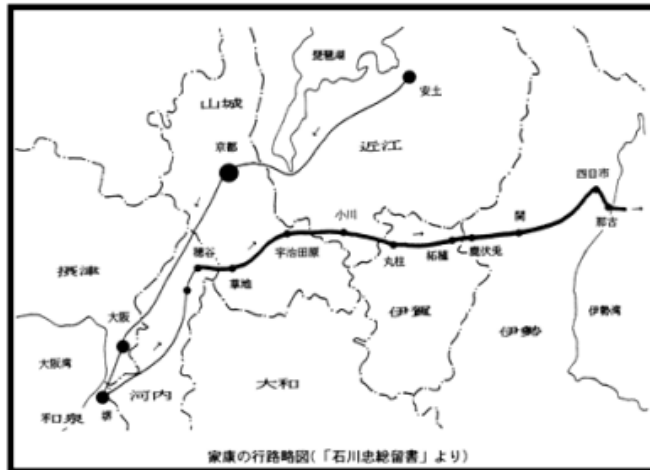
- ①服部半蔵正成は、徳川家康に仕え、16歳で初陣を果たすと、姉川の戦いや三方ヶ原の戦いなどに出席し、ことごとく戦功をあげたと伝えられている。
- ②1582年。家康は、織田信長と安土で話し合いをした後、わずかな共をつれて、堺でつかの間の休息をとっていた。そのとき、信長が明智光秀に殺されるという大事件が起きる（本能寺の変）。
- ③その知らせを受けた家康は、光秀の追っ手を恐れ、堺から伊賀を通して三河へといたる最短コースで、郷里の三河に戻ろうとした。
- ④家康にとって、伊賀を越えること、すなわち「伊賀越え」は、「御生涯御艱難の第一」つまり最大の危機であったと伝えられている。このとき、家康の苦難を救ったのが服部半蔵だった。
- ⑤半蔵が、家康の重臣本田忠勝の指示を受けて、伊賀者200～300人を率いて家康たちを無事に伊勢白子の浜まで送り届けたと伝えられている。
- ⑥この活やくによって、伊賀者は家康の家来として雇われるようになった。
- ⑦1590年。服部半蔵と200人の伊賀者は、江戸に入った。半蔵は、江戸城の搦手門（のちに半蔵門と呼ばれる）付近に伊賀者を住ませ、江戸城の守りを固めた。
- ⑧家康は、伊賀者たちを1600年の関ヶ原の戦いなどで駆使した。1615年の大坂の陣では、敵の拠点である大坂城に忍び込んで情報を盗みだし、徳川家の勝利に大きくかかわったと伝えられている。

参考：歴史発見 11、NHK 歴史発見取材班、1994年

【言葉、人物】

- ・初陣…初めて戦いに出ること
 - ・戦功…戦いの手がら
 - ・郷里…ふるさと。生まれ故郷
 - ・本田忠勝…幼い頃から徳川家康に仕え、天下統一を支えた。数多くの戦場で手がらを立て、徳川四天王の1人として活やくした。
- 参考：桑名市役所 HP

【地図 「伊賀越え」の道のり】



引用：三重県HP 歴史の情報蔵 「15 服部半蔵と家康」
https://www.bunka.pref.mie.lg.jp/rekishi/kenshi/asp/Q_A/detail.asp?record=124

【学習指導要領コード】

82201L010000000
 822026322100000
 82203L022000000

822026220000000
 822026523210000

822026210000000
 822026523220000